

いきものクッキー専門店 kurimaro collection

三重県桑名市

<https://shop.cookie-kurimaro.com/>



店舗概要

創業年 2016年(平成28年)

※法人化:2021年12月28日

(株式会社クリマロ)

売場面積 25.9㎡(7.8坪)

従業員 7人

営業時間 9:30~17:30

定休日 日・月曜日

商品構成

・いきものクッキー 100.0%

経営方針

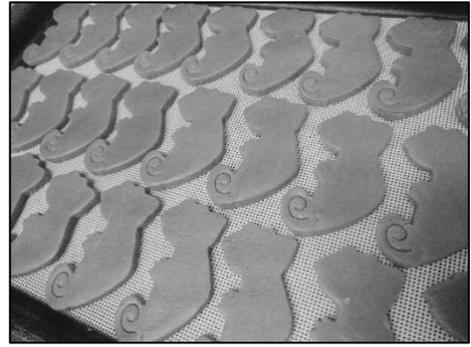
- ・個性をお菓子なカタチに
- ・地球上の生きものの可愛らしさ、面白さ、意外性、可能性を形や味に変えて伝え
- ・いきものクッキーを通じて地球のこと、生物多様性を感じる生きものクッキー王国を創造します。

約450種類以上のポップで可愛いクッキー迎える

「いきものクッキー王国」

[可愛いだけでなく生きものの個性に合わせたクッキーづくり]

子供の頃からずっと動物が大好き。犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスター、インコ、うずら、メダカに金魚に熱帯魚、オタマジャクシ、トカゲ、カブトムシなどあらゆる生き物を育ててきた経営者が、2016年、子供の頃の憧れであった動物王国で働きたいという夢をクッキーの世界で叶えようとクッキーで「どうぶつ王国」を創造。クッキーを通してその生きものの特徴を出して、好きな方が気付くカラクリを組み込む。そのために飼い主・飼育員・獣医等の専門家から直接話を聞きクッキーの形と味に落とし込む。クッキー型は創業者含む(型づくり)のクッキーアートデザイナーがオリジナル製作。オスとメスでは鼻の色が違うことから、色を変えてオスメスを選ぶことができるのがセキセイインコクッキー等、生きものの特徴を所縁のある食材使って色や味を表現する。色を大切にするため、定温で約1時間焼き上げてから顔付けし、更に9時間乾燥させる。三重県産小麦を使用する等、地産地消を優先。合成着色料は避け、野菜や果物のパウダーで色づけ。卵不使用も特徴の1つ。



生き物がリアルかつ可愛く表現されるクッキーは、水族館などのイベントでも人気だ。

実物の色を再現するため、定温で1時間焼き上げる。

[イベント販売から店売りと企業コラボへの転換]

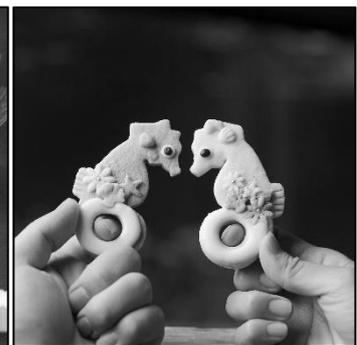
2016年桑名市寺町商店街でオープン。関東・関西各地の生き物イベントに出展して知名度を高め、売上を確保してきた。新型コロナ感染拡大によってイベントは全て中止。そこで自社ホームページでのネット販売を強化するとともに伊勢シーパラダイスや長島観光開発等の地元企業と連携した商品開発と委託販売を開始した。2021年には工房を拡大して店売りを強化した。

[季節に合わせたクッキーを限定販売]

森のどうぶつ・いぬさん・ねこさん・とりさん等、生きもの別に商品群を構成しており、常時200~300種を揃えている。更に季節に合わせて季節限定のデザインでクッキーを焼き上げる。1月であれば干支セット、2月はバレンタインのチョコレートクッキー、9月にはお月見クッキー等が登場する。

[生きものが集まる場所を店舗で表現]

明るい白を基調にして、イベント販売や納品等の作業動線を考慮した広いエントランスを持つ店舗。店内では壁面を海側と森側をイメージして装飾し、生きものが集まってくる場所を表現。型抜きして作成したコンクリートの葉っぱや魚等を壁に貼り付けて温かみを演出。店内には約200種類のクッキーが並び、お客様はカゴを持って生きものクッキーを選ぶ楽しさを体験できる。店内には本物のヘラクレスオオカブトや微生物プラナリア、フトアゴヒゲトカゲ等も展示されており来店客との会話がはずむ。壁にはブラックライトを当てると光る虫や星も仕込まれており、親が買物を楽しんでいる間、壁にどんな生きものがあるかを子ども達を楽しむことができる。大人も子供も「楽しかった」と言って下さる体験がたの店舗となっている。Line公式アカウントを利用した来店特典も提供しており、来店客の増加に繋がっている。



左から：200~300種類のクッキーが並ぶ店内 / 年末に販売した干支クッキー / 指に絡まるタツノオトシゴ